

徳島大学歯学部創立50周年記念事業 記念講演会のご案内

令和8年11月22日（日） in JRホテルクレメント徳島

～次の50年を、口腔から支える～

13:00～14:50

座長：馬場 麻人 前歯学部長

先天性無歯症患者の欠如歯を再生する新規抗体医薬品の開発

公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 歯科口腔外科 主任部長
トレジェムバイオフーマ株式会社 共同創業者 取締役 最高技術責任者(CTO)

高橋 克 先生（徳島大学歯学部歯学科 第7期卒業生）



先天性無歯症は、遺伝子異常を背景として多数歯の欠如を生じ、幼少期から栄養や顎骨の成長に悪影響を及ぼす疾患です。

私たちは、USAG-1を標的分子とする抗体によって無歯症モデル動物の欠如歯が回復することを示し、治療候補TRG035を開発しました。

TRG035は、現在「重症型先天性部分無歯症」の稀少疾病用医薬品に指定され、第1相臨床試験で忍容性、寛容性と至適投与量が確認されました。

本講演では、歯の再生治療の基盤研究から臨床応用への展開と、今後の第2相臨床試験への展望を紹介します。

座長：河野 文昭 徳島大学副学長

最近の歯科保健医療の動向について ～行政歯科医師の立場から～

川崎市健康福祉局保健医療政策部保健医療政策課 担当課長
（前厚生労働省医政局歯科保健課）

奥田 章子 先生（徳島大学歯学部歯学科 第30期卒業生）



2040年に向けて、少子高齢化や地域差の拡大により、地域の実情に応じた持続可能な歯科医療提供体制の構築が重要な課題となっています。近年は、入院・在宅患者への口腔管理や、生涯を通じた予防・重症化予防など、歯科医療に求められる役割も大きく変化しています。

厚生労働省では、歯科医師の需要推計や地域偏在に加え、歯科衛生士・歯科技工士の業務のあり方、歯科健診の推進についても検討を進めています。

本講演では、行政歯科医師の立場から、最近の歯科保健医療に関する動向と地方公共団体の取組等を紹介します。